

# 西区紙ヒコーキ大会 大会ルール

## 大会規定機

大会で使用する機体については以下のとおりに定める。

- 1 西区青少年指導員協議会が配布する型紙を使用するものとする。
- 2 配布した型紙を変形させることは禁止とする。
- 3 機体にクリップ等の重量物を付けることは禁止とする。
- 4 機体の彩色は可とする（塗料は自由）。

## 競技方法

- ・各選手は指定された場所から、手投げにより行う。
- ・選手は3回の試技を行い、滞空時間の最も長い記録をベストタイムとして記録する。
- ・タイムは機体が選手の手からはなれ、機体が最初に床に着いた時点で計測するものとする。従って、機体が一時床に接触して、再び浮上し、滑空をした場合（タッチアンドゴー）そのタイムは加えない。
- ・同タイムの場合は、3回試技のタイム全てを合算した合計数により順位を決定する。
- ・機体が側壁・天井等に接触した場合は、その後床に落ちる時点まで計測する。この場合で機体が側壁・天井等に接触し、再び滑空した場合は計測を継続する。
- ・機体が観覧席等に入り、計測員の視界から消えた場合は、その時点までのタイムとする。
- ・計測員など役員や他の選手にぶつかった場合または機体同士がぶつかった場合は、選手の希望により、再度試技ができるものとする。ただし、その場合ぶつかった時の計測は無効とする。
- ・その他トラブルが発生した場合は、役員が協議し、その都度対処する。

## 滞空競技大会選手への賞

滞空時間優秀者への賞状の授与

競技グループ（ABC）別に 第1位～第3位まで表彰する。